

マスコミ各位

令和7年7月25日（金）

沖縄県保健医療介護部地域保健課 感染症対策班

担 当：喜屋武、仁平

電 話：098-866-2215

百日咳の流行状況について(2025年第29週) ～過去最多を大きく上回るペースで増加しています～

1 概要

感染症発生動向調査による本県の医療機関からの百日咳の届出が、2025年は第29週（7月14日～7月20日）時点で累計918人となり、全数把握となった2018年以降では過去最多であった2024年の86人の10倍を超える数となっています。また、0歳児の患者も71名となり、過去7年の平均値（5名）を大きく上回っている状況です。全国的にも感染が拡大する中、学校は夏休みとなる等、人の移動が増える時期であることから、改めて県民の皆様へ注意を呼びかけます。

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると無呼吸発作や呼吸停止等の重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに定期接種である五種混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだワクチンを接種していない場合や既定の回数を接種していない場合は早めに接種をしてください。

また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が続く場合は早めに医療機関を受診してください。特に症状がある場合は、感染を防ぐためワクチン未接種の新生児・乳児への接触は控えましょう。

2 百日咳とは 5類感染症〔全数把握〕

病 原 体：百日咳菌

感染経路：咳等による飛沫感染、接触感染

潜伏期間：7～10日間

症 状：普通のかぜ症状で始まり、約2週間のうちに次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

その後、特徴ある発作性けいれん性の咳が2～3週間続きます。これは短い咳が連続的に起こり（スタッカート）、続いてヒューと笛の音のような息を吸う発作となります（ウープ）。発熱はないか、あっても微熱程度です。

激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなりますが、忘れた頃に発作性の咳がでます。全経過約2～3か月で回復します。

成人の百日咳では咳が長期にわたって持続します。典型的な発作性の咳を示すこと

はありませんが、菌の排出があるため、感染源として注意が必要です。

治療：エリスロマイシン、クラリスロマイシンなどの抗菌薬が使用されます。

予防：定期接種である五種混合ワクチンが有効です。定期接種の対象年齢等は生後 2～90 か月であり、計 4 回の接種となります。その他、手洗い、マスク着用等の基本的な感染対策の実施が重要となります。

3 百日咳の流行状況

感染症発生動向調査では、2017 年まで定点把握として小児科定点医療機関から報告されていました。2018 年以降は全数把握となり、県内ではこれまで 2024 年の 86 人が過去最多でした。

2025 年は、第 29 週までの患者数は 918 人で、年齢群別では 10～14 歳 356 人（38.8%）で最も多く、次いで 5～9 歳が 210 人（22.9%）、15～19 歳 107 人（11.7%）の順となっております。

保健所別の患者届出数は、中部保健所が 298 人で最も多く、次いで南部保健所 242 人、那覇市保健所 161 人、北部保健所 82 人、八重山保健所 74 人、宮古保健所 61 人の順となっています。また、全国の患者数についても 52,553 人で過去最多となっています。

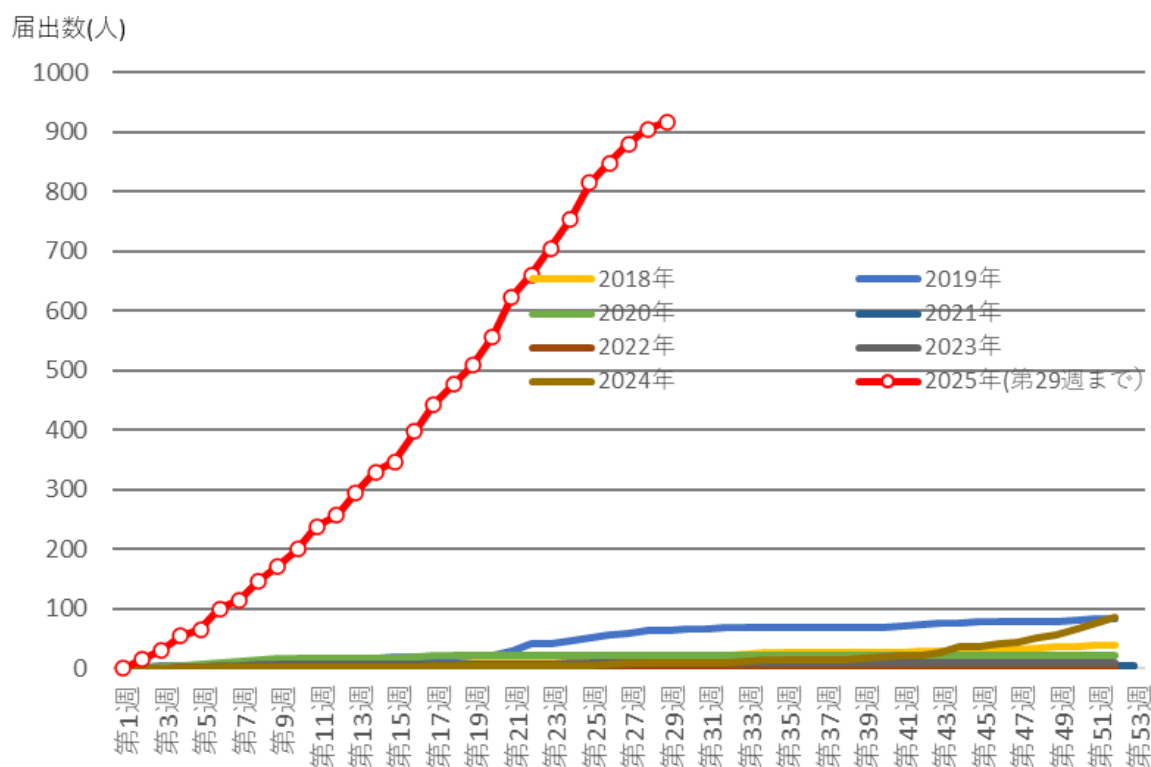
表 1：県内の年齢階級別届出数（2025 年第 29 週時点）

年齢群	0 歳	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
患者数	71	30	210	356	107	21	18	30	31	23	21	918
(%)	(7.7)	(3.3)	(22.9)	(38.8)	(11.7)	(2.3)	(2.0)	(3.3)	(3.4)	(2.5)	(2.3)	(100)

表 2：県内及び全国の患者届出数（2018 年以降、2025 年第 29 週時点）

	年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
県	患者数	39	84	22	5	2	10	86	918
保健所	北部	0	1	0	2	0	1	3	82
	中部	8	46	11	1	1	0	23	298
	南部	7	13	2	0	1	6	44	242
	宮古	3	3	3	0	0	0	0	61
	八重山	0	2	1	0	0	1	0	74
	那覇市	21	19	5	2	0	2	16	161
全国	患者数	12,115	16,845	2,819	707	491	1,015	4,054	52,553

図 1：県内の患者届出状況（2018 年以降、2025 年第 29 週時点）



4 参考

沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報（速報）」

<全数把握疾患（1～5 類）>に、百日咳の情報を掲載しています。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006484.html>

厚生労働省「百日せきの概要」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/dpt-ipv-hib/index.html

国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト「百日咳」、「百日咳の発生状況について」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/index.html>

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html

こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）（2023 年 5 月一部改訂）」

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/cd6e454e/20231010_policies_hoiku_25.pdf

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説（2025 年 4 月改訂版）」

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20250430_yobo_kansensho.pdf